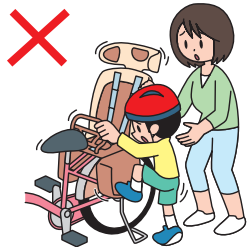


お子様をチャイルドシートにませ降ろする時に、足ませをステップ(踏み台)として使用しない(体重をかけない)ようにしましょう



足ませに体重をかけると、想定以上の力が加わり、破損するおそれがあり危険です。

新しくチャイルドシートを装着して使用する場合は、販売店で自転車のキャリアが適正かどうか確認いただき、装着を依頼してください。

チャイルドシートやキャリアが破損したり、変形していないか、使用前に確認しましょう

チャイルドシートやキャリアが破損したり、変形したまま使用すると、事故・けがのおそれがあり危険です。

6歳以上のお子様をチャイルドシートにさせることは、道路交通法違反になります

同乗できるお子様の体重についても、取扱説明書で合わせてご確認の上、ご利用ください。

お子様をチャイルドシートにさせる前に、必ずヘルメットを着用させましょう

事故が起こった場合、ヘルメットを着用することで軽傷ですむことが(財)製品安全協会より報告されています。

お子様をチャイルドシートに乗せた自転車は重さが増します

押し歩きや駐輪動作中にもふらつきやすくなりますので、転倒しないように注意しましょう

必ず両手で自転車を操作し、ふらつきを感じたら無理をせず、お子様を降ろしてご利用ください。

雨天時は制動距離が長くなります。前後ブレーキを併用し、ゆっくり走行してください。



ブレーキが濡れているときが恶くなります。特に、大雨に当たった場合やブレーキが水に浸かった場合は、必ずブレーキのききを確認し、異常があれば使用を中止してください。

急な坂道では、自転車から降り、押して歩きましょう

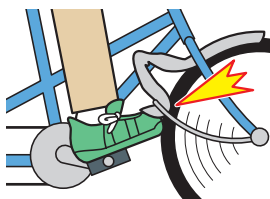
ハンドルがとられやすくなったり、車輪が滑りやすくなる場合があります。転倒し事故・けがををするおそれがあります。特に登り坂では、前輪が浮いたり、ふらつきやすくなり注意が必要です。

ハンドルにバッグや荷物をぶら下げないようにしましょう



ハンドルに物をぶら下げての走行は危険です。前輪に巻き込み大怪我をします。

ペダルは足のつま先寄りで踏みましょう



足やドロヨケが前輪に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。(前輪やドロヨケにくつが接触しないように)

点検・マナー

自転車安全のしおり

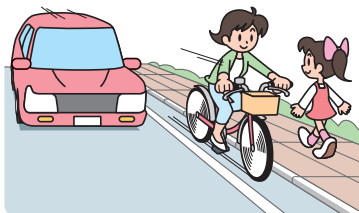
第2版



ブリヂストンサイクル株式会社

道路交通法を守って、安全で快適に 走行しましょう

自転車は車道通行が原則です



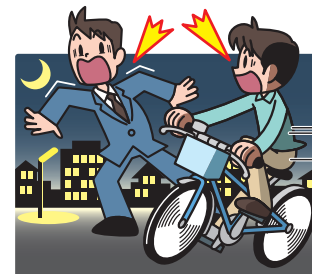
道路交通法上、自転車は車道通行が原則です。
歩道通行は例外です。
3ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
(道路交通法第17条)

二人乗りは禁止です



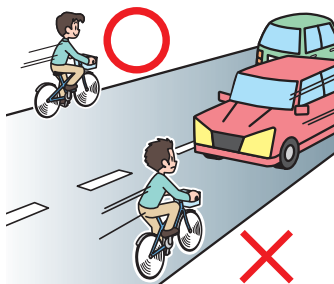
5万円以下の罰金(道路交通法第55条第1項)
2万円以下の罰金または料料(道路交通法第57条第2項)

夜間や暗い場所での無灯火は禁止です



5万円以下の罰金(道路交通法第52条第1項)

車道の右側通行は道路交通法で禁止です



3ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
(道路交通法第17条第4項)

イヤホンやヘッドホン、携帯電話を使用しながらの走行は禁止です



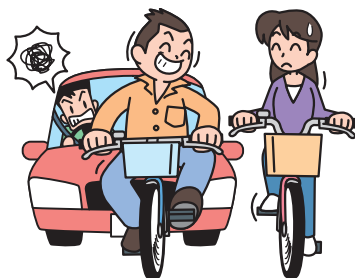
5万円以下の罰金(道路交通法施行細則第10条第6号、7号)

子供はヘルメットをかぶりましょう



万一転倒した時に、頭部を守ります。
(道路交通法第63条の10)

並進は禁止です



2万円以下の罰金または料料(道路交通法第19条)

かささし運転は禁止です



雨や泥はねを防ぐためには、レインウェアを着用してください。
5万円以下の罰金(道路交通法第71条第6号)

日常点検、定期点検を行い、故障したまま使用しないようにしましょう



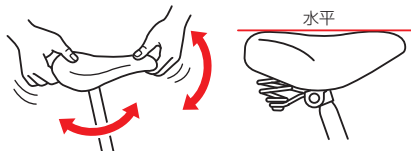
日常点検、定期点検を行い、故障したまま使用しないようにしましょう。道路交通法上、整備不良は運転禁止
ブレーキの整備不良は5万円以下の罰金
(道路交通法第63条の9, 第1項)

重要点検ポイント

安全に自転車をご使用いただくため、乗車前に必ず点検をお願いします。自転車は、ご使用に伴い、各部が傷んだり、ネジがゆるんでいきます。これらを放置して使用をつけると、危険です。次のような異常がありましたら、お店にご相談してください。

サドル

- ・確実に固定されていますか？
- ・水平に固定されていますか？



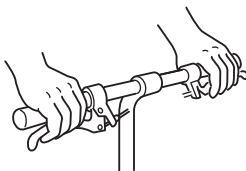
にぎり

- ・ゆるみはないですか？
- ・切れていないですか？



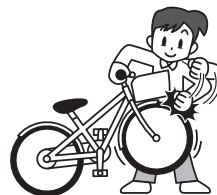
ブレーキ

- ・効きは充分ですか？



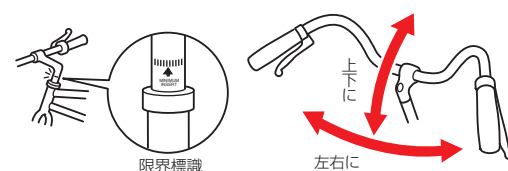
前輪

- ・固定されていますか？



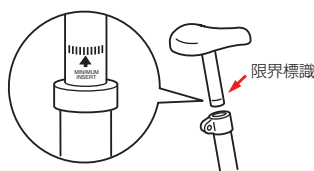
ハンドル

- ・ハンドルステムは限界標識より上げていませんか？
- ・ゆるみやガタはありませんか？



シートポスト

- ・限界標識より上げていませんか？



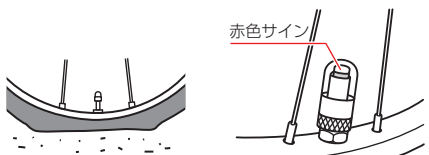
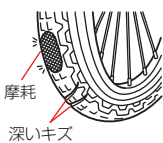
サークル錠

- ・動きはスムーズですか？



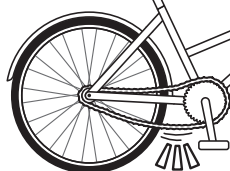
タイヤ

- ・摩耗していませんか？
- ・空気圧は適正ですか？
- ・空気ミハル君の赤サインは隠れていますか？
(空気ミハル君装備車)



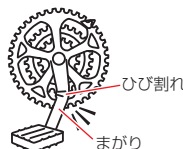
チェーン

- ・たるんでいませんか？



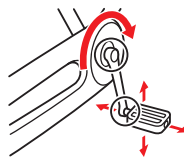
クランク

- ・ひび、割れ、曲がりはありませんか？



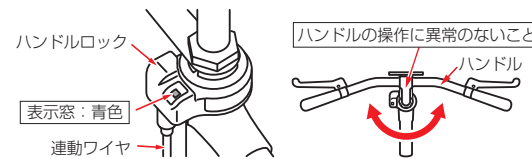
ペダル・クランク

- ・ガタつきはありませんか？



ハンドルロック装備車

- ・ハンドルロックが解除されていますか？

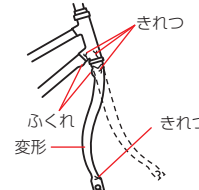


前照灯(ランプ)

- ・点灯しますか？

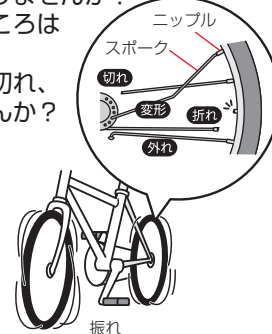
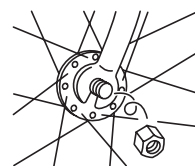
フレーム・前ホーク

- ・変形、きれつ、ふくれなどの異常がないこと



車輪

- ・ゆるみやガタつきはありませんか？
- ・ネジがゆるんでいるところはありませんか？
- ・スポークやニップルの切れ、外れ、変形はありませんか？

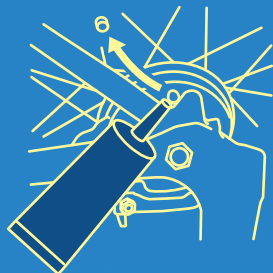


簡単メンテナンス

自転車を長く安全に使用していただくため、定期的にメンテナンス（整備）をしましょう。
詳しく知りたい方は販売店に相談してください。



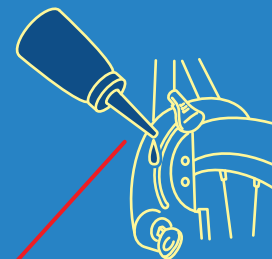
スタンドの作動部に注油しましょう。



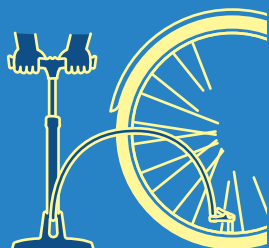
「ローラーブレーキ」の場合のみ専用グリスが必要です。

ローラーブレーキが鳴いたり、効きが悪くなりだしたら、販売店で専用グリスを注入してもらいましょう。

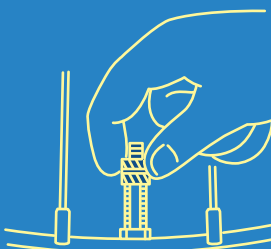
⚠ ローターブレーキ以外は、注油厳禁です。



カギの動きがにぶくなったら動作部に自転車油を注油しましょう。



月に1, 2回はタイヤに空気を入れましょう。



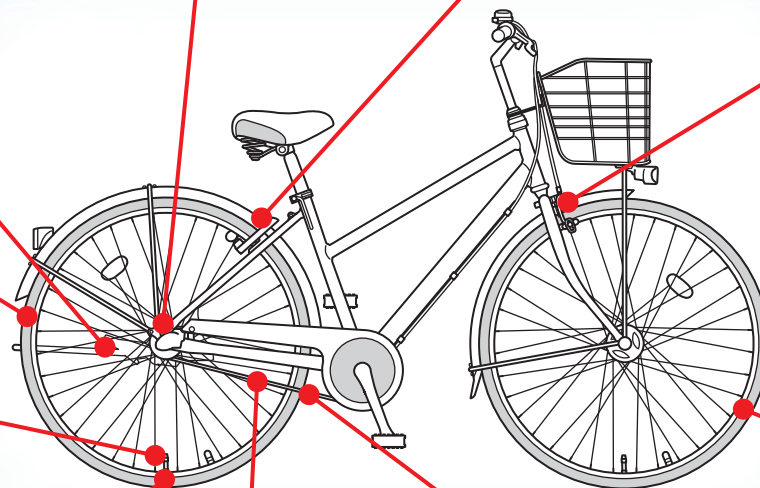
先端のトップナットはしめておきましょう。



ワイヤーが伸びてブレーキレバーのあそびが大きくなったり、効きにくくなったら、アジャストナットでワイヤーの張りを微調整しましょう。



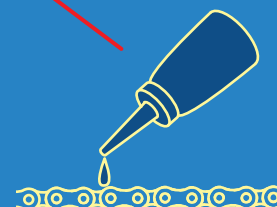
アルミリムは汚れたり、泥で傷つきやすいので、布でふいてそうじしましょう。



バルブ内の虫ゴムは1年に1度くらい交換しましょう。空気もれの防止になります。



ベルトの汚れは布でふいてそうじしましょう。ベルトに油は塗らないようにしましょう。



チェーンから音が鳴り出したり、錆びたりしたら、自転車油を注油しましょう。